

北海道身体障害者新聞

発行人 一般社団法人 北海道身体障害者福祉協会
会長 赤坂 勝
札幌市中央区北2条西7丁目(かて2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
ホームページ www.hokusinkyō.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

第2回大会推進委員会 第1回組織検討委員会 第3回理事会の開催

平成26年12月2日、道民活動センタービルにおいて一般社団法人北海道身体障害者福祉協会第2回大会推進委員会、第1回組織検討委員会、及び第3回理事会が開催されました。
当日は理事8名、監事1名が出席。冒頭、赤坂勝会長より、出席のお礼と議案審議への協力要請の挨拶の後、審議開始となりました。



冒頭挨拶の赤坂会長

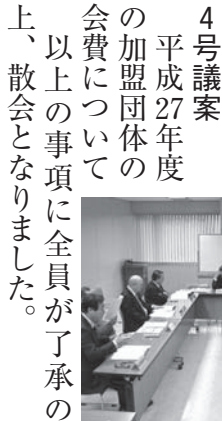
第2回大会推進委員会では、平成26年度の函館大会が各方面より高い評価を頂いた報告と、平成27年度全道福祉大会恵庭大会の開催要綱(案)を了承しました。

続いて、第1回組織検討委員会が行われました。
協議事項1 空席の副委員長を選出
協議事項2 平成26年度上期の収支状況について
協議事項3 北海道ろうあ者・北海道明星の各奨学金廃止にもなう一般社団法人の変更届の行程について

協議事項4 平成25年度末の北海道の身体障害者手帳交付状況について
協議事項5 その他の協議事項として、会員の高齢化・会員数の減少に対する改革・改善について

以上の事項について、報告及び協議があり、全出席委員の了承が得られました。
引き続き行われた第3回理事会は、定足数を満たし、理事会は成立であることの報告があり、以下の議案審議となりました。
1号議案・2号議案
平成26年度上期収支状況(事業報告)と監査報告
3号議案
平成26年度日身連収益事業について
4号議案
平成27年度の加盟団体の会費について
以上の事項に全員が了承の上、散会となりました。

第64回障害者自立更生 等厚生労働大臣表彰



表彰式の様子

永年にもわたり、身体障害者又は知的障害者の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる「更生援護功労者」として、砂川身体障害者福祉協会の工藤公人会長が平成26年12月5日に表彰されました。



工藤公人会長と奥様

【功績内容】

自らも身体に障害を持ちながら積極的に勤労に励み、勤務外には障害者の様々な福祉活動に参画している。
障害者の冬の戸外活動として、先駆的にスキーに取り組み、第1回ハンディキャップスキー大会を開催。また障害者の機能回復を目的に第1回全道障害者ゴルフ大会を開催し、さらに第1回障害者ゲートボール大会を実施するなど、北海道における障害者スポーツの発展に貢献した。

また、砂川身体障害者福祉協会事務局として長年活動してこられ、平成20年には会長に就任された。この間、北海道身体障害者福祉協会の理事、平成21年には同監事に就任し、福祉活動の幅を拡大した。さらに障害者に就労の場を提供するため、平成6年より障害者作業所つばさを開設、平成18年には特定非営利活動法人とし、就労支援事業所ばるるを開設する等、障害者の福祉促進を推進している。
(原文より引用しました)

要約筆記を活用してみませんか

要約筆記は、話される内容をその場で文字にして聴覚障害者に伝える情報保障です。
中途失聴者・難聴者にもわかりやすい方法です。
当協会では、お住まいの近くの要約筆記奉仕員サークルをご紹介します。

【連絡先】
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
電話 011(251) 15551
FAX 011(251) 0858

全国統一要約筆記者認定試験迫る!

平成26年度全国統一要約筆記者認定試験は、2月22日(日)道民活動センタービル1030会議室にて実施いたします。
平成25年度及び26年度要約筆記者講習講習を修了された要約筆記奉仕員のうち41名が受験予定です。
高度な技術で、難失聴者の方々の社会参加に大いに役立つ北海道の新たな要約筆記者の誕生に期待です。

節分に食べるもの

2月3日は節分です。節分はもともと各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことをいい、「季節を分ける」ことを意味しています。しかし、寒くて厳しい冬を越えて暖かな春の始まる立春の節分は、とりわけおめでたいということと、昔は立春が新年の始まりにも相当する大事な節目だったので、他の節分よりも重要視されるようになり、節分といえは立春の前日をさすようになったそうです。
さて、この節分に食べるものをまとめてみました。

●豆

豆をまき、自分の年齢の数だけ食べます。また、自分の年より一つ多くの数の豆を食べると、身体が丈夫になり風邪をひかないというならわしがあるところもあるそうです。
豆の種類は、「大豆」と「落花生」がほとんどを占めています。一番多いのが「大豆」。関東より南の地域が大豆エリアで全国の約7割。
「落花生」は二番目に多く、北海道・東北・北陸・九州が落花生エリアです。

「落花生」をまくようになったのは、昭和30年代の北海道からと言われている。その理由は、大豆より落花生の方が、雪の中でも拾いやすい。「落花生なら見つけられるので、粗末にならない」と、雪の多い地域らしい理由で始まったと言われている。

九州地方の落花生エリアは、落花生の産地(鹿児島)があるからだそうです。
●恵方巻き
近畿地方で始まったとされている巻き寿司ですが、その呼び方も色々です。
「恵方巻き」恵方を向いて福を巻き込む巻き寿司を食べるから。「恵方寿司」恵方を向いて食べる寿司なので。
「丸かぶり寿司」丸かぶり(かじる)することから
この他にも地域やお店で様々な呼び方があるようですが、特徴はその食べ方。
1 太巻きをひとり1本準備する。
2 恵方を向く。(2015年の恵方は西南西や西)
3 願いごとをしながらか、黙々と最後まで食べる。

●節分いわし

鯛(いわし)の頭を柵(ひいらぎ)の枝に刺したものを玄關に飾るとい風習で、鯛を焼くと出る激しい煙と臭いで邪気を追い払い、柵の針で鬼の目を刺すという魔よけの意味があります。
●節分そば(年越しそば)
立春の前日の節分は、冬から春への節目の日であるため、江戸時代には大晦日ではなく節分を本日の年越しという考え方があり、昔は節分に食べるそばを「年越しそば」と呼んでいたそうです。

北のチャレンジドショップ

【SD-45】名代手紙そば 50g X 10封筒5人前(国内産そば粉使用)

※お電話予約は、
※配達料は別途
※配達日時
※送料/その他費用
※決済方法

12月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
1月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

送料別価格 1箱 ¥1,300 (送料別価格: 98円)
【この商品についてお問い合わせ】

北身協収益事業 活用のお願い

当協会は、独自の財源確保の一環としてインターネットで収益事業を立ち上げております。収益金は、身体障害者福祉向上をめざす活動に有効に活用させていただきます。詳細はインターネットで「北身協」と検索してください。ご希望の方には、カタログを送付いたします。節分そばはいかがですか？

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所 代表取締役 関 喬 札幌市中央区南三条西六丁目 電話代表(011)241-0986番	株式会社 札幌義肢製作所旭川支店 支店長 舛田裕司 旭川市五条通十二丁目 電話(0166)241-533番	株式会社 野坂義肢製作所 札幌市中央区南三条東四丁目 電話(011)221-1406番	株式会社 河笠義肢製作所 小樽市長橋四丁目七番二十九号 電話(0134)211-3042番 (0134)311-7002番	株式会社 馬場義肢製作所 函館市豊川町一五の七 (0138)311-215番 札幌市北太平七条七丁目 (011)741-0303番 室蘭市母恋北町一三の六 (0143)211-559番 釧路市富士見一五の九 (0154)411-3546番	株式会社 田村義肢製作所 札幌市中央区北四条東五丁目 電話(011)代(011)277番 帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地 電話(0155)271-2489番	株式会社 協和義肢製作所 岩見沢市三条西八丁目 電話(0126)211-3739番 旭川市十条通九丁目 電話(0166)241-034番 転送電話(011)266-55番	株式会社 美唄義肢製作所 代表取締役 松田清勝 美唄市東七条北四丁目七番九号 電話(0126)611-931番	株式会社 千葉義肢製作所 釧路市若草町七番二号 電話(0154)211-0381番 FAX(0154)211-9588番	株式会社 岩見沢義肢 岩見沢市緑が丘四丁目二二二-196 電話代表(0126)211-1550番
--	--	---	--	---	--	--	--	---	--

厚労省が障害者雇用実態調査の結果を公表

雇用者数は前回調査より大幅に増加、障害者の雇用は着実に進展

厚生労働省は、平成25年11月に実施した「平成25年度障害者雇用実態調査」の結果を取りまとめ、公表しました。

【調査結果の主なポイント】

前回調査(平成20年)と比較し、総計で雇用者数が増加し、全体的に障害者雇用は着実に進展。特に知的障害者と精神障害者については、週20時間以上30時間未満の雇用者数の伸びが堅調である。

＜事業所調査の結果＞

○従業員規模5人以上の事業所に雇用されている障害者数は63万1千人で、前回調査に比べて18万3千人の増加(平成20年度44万8千人)

内訳は、身体障害者が43万3千人(同34万6千人)、知的障害者が15万人(同7万3千人)、精神障害者が4万8千人(同2万9千人)。

○週所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者の割合が、前回より増加。

・身体障害者12・0%
(対前回比2・7ポイント減)

・知的障害者26・5%
(同13・3ポイント増)

・精神障害者26・2%
(同1・4ポイント増)

＜個人調査の結果＞

○職場における改善が必要な事項や要望として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」28・0%

・知的障害者「今の仕事をずっと続けたい」52・3%

・精神障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」31・2%

○将来に対する不安として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「老後の生活が維持できるか」63・9%

・知的障害者「親がいなくなつたら生活を助けてくれる人がいなくなる」37・3%

・精神障害者「仕事を続けられるかどうか」71・5%

【調査結果の概要】

事業所調査では「障害者雇用」に当たっての課題・配慮事項として、身体障害者、知的障害者、精神障害者ともに、「会社内に適当な仕事があるか」が最も多くなっている。

また、雇用している障害者への配慮事項としては、身体障害者については、「配置転換等人事管理面については配慮」、知的障害者については、「工程の単純化等職務内容の配慮」、精神障害者については、「通院・服薬管理等雇用管理上の配慮」が最も多くなっている。

＜事業所調査の結果＞

○従業員規模5人以上の事業所に雇用されている障害者数は63万1千人で、前回調査に比べて18万3千人の増加(平成20年度44万8千人)

内訳は、身体障害者が43万3千人(同34万6千人)、知的障害者が15万人(同7万3千人)、精神障害者が4万8千人(同2万9千人)。

○週所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者の割合が、前回より増加。

・身体障害者12・0%
(対前回比2・7ポイント減)

・知的障害者26・5%
(同13・3ポイント増)

・精神障害者26・2%
(同1・4ポイント増)

＜個人調査の結果＞

○職場における改善が必要な事項や要望として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」28・0%

・知的障害者「今の仕事をずっと続けたい」52・3%

・精神障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」31・2%

○将来に対する不安として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「老後の生活が維持できるか」63・9%

・知的障害者「親がいなくなつたら生活を助けてくれる人がいなくなる」37・3%

JRジパング倶楽部特別会員のご案内

【調査結果の概要】

事業所調査では「障害者雇用」に当たっての課題・配慮事項として、身体障害者、知的障害者、精神障害者ともに、「会社内に適当な仕事があるか」が最も多くなっている。

また、雇用している障害者への配慮事項としては、身体障害者については、「配置転換等人事管理面については配慮」、知的障害者については、「工程の単純化等職務内容の配慮」、精神障害者については、「通院・服薬管理等雇用管理上の配慮」が最も多くなっている。

＜事業所調査の結果＞

○従業員規模5人以上の事業所に雇用されている障害者数は63万1千人で、前回調査に比べて18万3千人の増加(平成20年度44万8千人)

内訳は、身体障害者が43万3千人(同34万6千人)、知的障害者が15万人(同7万3千人)、精神障害者が4万8千人(同2万9千人)。

○週所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者の割合が、前回より増加。

・身体障害者12・0%
(対前回比2・7ポイント減)

・知的障害者26・5%
(同13・3ポイント増)

・精神障害者26・2%
(同1・4ポイント増)

＜個人調査の結果＞

○職場における改善が必要な事項や要望として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」28・0%

・知的障害者「今の仕事をずっと続けたい」52・3%

・精神障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」31・2%

○将来に対する不安として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「老後の生活が維持できるか」63・9%

・知的障害者「親がいなくなつたら生活を助けてくれる人がいなくなる」37・3%

盲ろう者通訳・介助員派遣事業の利用について

【調査結果の概要】

事業所調査では「障害者雇用」に当たっての課題・配慮事項として、身体障害者、知的障害者、精神障害者ともに、「会社内に適当な仕事があるか」が最も多くなっている。

また、雇用している障害者への配慮事項としては、身体障害者については、「配置転換等人事管理面については配慮」、知的障害者については、「工程の単純化等職務内容の配慮」、精神障害者については、「通院・服薬管理等雇用管理上の配慮」が最も多くなっている。

＜事業所調査の結果＞

○従業員規模5人以上の事業所に雇用されている障害者数は63万1千人で、前回調査に比べて18万3千人の増加(平成20年度44万8千人)

内訳は、身体障害者が43万3千人(同34万6千人)、知的障害者が15万人(同7万3千人)、精神障害者が4万8千人(同2万9千人)。

○週所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者の割合が、前回より増加。

・身体障害者12・0%
(対前回比2・7ポイント減)

・知的障害者26・5%
(同13・3ポイント増)

・精神障害者26・2%
(同1・4ポイント増)

＜個人調査の結果＞

○職場における改善が必要な事項や要望として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」28・0%

・知的障害者「今の仕事をずっと続けたい」52・3%

・精神障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」31・2%

○将来に対する不安として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「老後の生活が維持できるか」63・9%

・知的障害者「親がいなくなつたら生活を助けてくれる人がいなくなる」37・3%

短文

【調査結果の概要】

事業所調査では「障害者雇用」に当たっての課題・配慮事項として、身体障害者、知的障害者、精神障害者ともに、「会社内に適当な仕事があるか」が最も多くなっている。

また、雇用している障害者への配慮事項としては、身体障害者については、「配置転換等人事管理面については配慮」、知的障害者については、「工程の単純化等職務内容の配慮」、精神障害者については、「通院・服薬管理等雇用管理上の配慮」が最も多くなっている。

＜事業所調査の結果＞

○従業員規模5人以上の事業所に雇用されている障害者数は63万1千人で、前回調査に比べて18万3千人の増加(平成20年度44万8千人)

内訳は、身体障害者が43万3千人(同34万6千人)、知的障害者が15万人(同7万3千人)、精神障害者が4万8千人(同2万9千人)。

○週所定労働時間が20時間以上30時間未満の短時間労働者の割合が、前回より増加。

・身体障害者12・0%
(対前回比2・7ポイント減)

・知的障害者26・5%
(同13・3ポイント増)

・精神障害者26・2%
(同1・4ポイント増)

＜個人調査の結果＞

○職場における改善が必要な事項や要望として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」28・0%

・知的障害者「今の仕事をずっと続けたい」52・3%

・精神障害者「能力に応じた評価、昇進・昇格」31・2%

○将来に対する不安として最も多い項目は次のとおり。

・身体障害者「老後の生活が維持できるか」63・9%

・知的障害者「親がいなくなつたら生活を助けてくれる人がいなくなる」37・3%

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉道町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目東南カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

北海道リハビリ

障害者支援施設
リハビリ・エイト

障害福祉サービス事業
リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業
リハビリ・おおぞら

障害者支援施設
札幌ワークセンター

障害福祉サービス事業
セルブさっぽろ

グループホーム
エルフィンホーム

児童自立援助ホーム
陽だまり

特定相談支援事業
ポブルス

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人本部 北広島市西の里507番地1
TEL(011)375-2111(代)

株式会社

北海道マチエール

障害者・高齢者の雇用支援

岩見沢市幌向南四条一丁目二五〇一三
電話 〇一六二一六六〇〇五
FAX 〇一六二一六六〇〇七

リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣
介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは

HOP

ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階
TEL 〇一七四八八二二〇
FAX 〇一七四八八二二二

クリーニングは光生舎

光生舎 クリーナース
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルムライジング
光生舎 ライト・スラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 クリーン・セブン
光生舎 スラザインザット
光生舎 親愛の家
光生舎 虹の里
光生舎 虹の里デイサービスセンター
光生舎 フレビラウ
ケアハウス

介護施設
特別養護老人ホーム しらかば荘
多機能事業所 光生舎ゆいまへるもみじ台

○施設の利用を希望される方は
お気軽にご相談下さい。

連絡先 (社福)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
担当 厚生部

社会福祉法人

かいせい

障がい福祉サービス事業所

ご注文承ります。

- ・クッキー
- ・シフォンケーキ
- ・焼き菓子、パン
- ・創作物
- ・軽作業請負

【法人本部】
〒040-0071
函館市追分町5-23-2
TEL:0138-40-8989
FAX:0138-40-7090

社会福祉法人

北海道宏栄社

障害者支援施設

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 〇一三四二五一一五五一
FAX 〇一三四二九一三二八四